

生活保護法の一部を改正する法律案に反対する会長声明

1 本年11月13日、「生活保護法の一部を改正する法律案」（以下、「新改正案」という）が参議院本会議で可決された。

政府は、本年5月17日、「生活保護法の一部を改正する法律案」（以下、「旧改正案」という）を閣議決定し、国会に提出したが、同法案は、申請手続に厳格な要式を求めることにより事実上の拒否する対応を合法化する事になるなどの問題点があり、批判が高まる中、本年6月の国会閉会とともに一旦廃案となった経緯がある。

今回の新改正案も、書面による申請と資料の添付を原則として義務づける（新改正案24条1項、2項）、親族による扶養ができないことを事実上の要件とする（新改正案24条8項、28条2項、29条）などの点で、旧改正案と何ら変わりが無く、保護申請を萎縮させ、生活保護法で保障された生活困窮者の保護請求権を侵害し、ひいては憲法上保障された生存権を侵害する可能性が極めて大きい。

2 現行の生活保護法（「現行法」）は、7条で申請保護の原則をとっている。これは恤救（じゅっきゅう）規則以来、旧生活保護法に至るまでとられてきた職権保護の建前を転換し、国民に保護請求権があることを明らかにしたもので、申請が保護請求権を行使するための法律的手段にまで高められるに至ったものである。そして、現行法は、保護の申請において書面の提出を義務づけず、保護の要否の判定に必要な書類の提出も申請時には義務づけていない。申請は非要式行為と解され、口頭による申請も有効であるとするのが確立した裁判例である。これは、保護の開始を第一次的には困窮した人の意思に基づく申請行為に委ねつつ、その申請行為を簡素なものとすることによって、生存権をできる限り漏れなくかつ速やかに保障する趣旨に出たものである。

しかし、実際には、福祉事務所の窓口で申請意思を表示しても、申請書を交付しなかったり、要否判定に必要な書類を申請書と共に提出するよう求めて申請を受け付けないなどの違法な運用が少なからず見受けられてきた（「水際作戦」）。

新改正案では、申請書の提出と保護の要否の判定に必要な書類の添付を義務づけ、申請を要式行為に転換し、手続を煩雑なものとしている。これでは、添付書類の不備等を理由として申請を受け付けない扱いが合法化されることとなり、「水際作戦」を助長することになりかねない。その結果、申請ができないことにより保護を受けるべき人が保護を受けられない（いわゆる「漏給」）、あるいは申請できたとしてもその時期が遅れ困窮した状態に

長くとどめ置かれるなど、生存権を侵害する事態が発生するおそれが極めて大きい。

3 また、現行法では、扶養義務者の扶養は保護の要件とはせず、単に優先関係にあるものとして（現行法4条2項）、現に仕送り等がなされた場合には収入認定し、その分保護費を減額することとしている。

しかし、実際の運用では、あたかも親族の扶養が受けられないことが保護の要件であるかのごとき説明が窓口でなされ保護申請を受け付けないという違法な運用が横行し、是正のための通知が厚生労働省から出されるといった経緯もあった。

新改正案では、保護の実施機関が、要保護者の扶養義務者その他の同居の親族等に対して報告を求めることができること、及び要保護者又は被保護者であった者の扶養義務者について金融機関や雇主等に対し書類の閲覧や資料の提供・報告を求めることができることを規定した上、保護開始決定をしようとするときは、あらかじめ扶養義務者に対し書面をもって厚生労働省令で定める事項を通知することを義務づけている。このような各種の照会や扶養義務者への通知が義務付けられると、親族間のあつれきを怖れる困窮者に対し、保護申請を萎縮させる効果を今以上に与えることは明らかであり、申請権ひいては憲法上保障された生存権の侵害につながる可能性が極めて高い。

4 当会は、これまでも生活保護に関する一斉電話相談を実施し、違法な「水際作戦」被害の個別救済に全力を挙げてきた。本年10月23日に実施した電話相談では4時間で23件もの相談が寄せられ、そのうち16件は生活保護を考えているにもかかわらず福祉事務所に行っていなかった。現状においても、漏給が問題であることが明らかである。

今般の新改正案は、「水際作戦」を合法化し、一層の萎縮的効果を及ぼすことにより、客観的には生活保護の利用要件を満たしているにもかかわらず、これを利用することのできない要保護者を続出させ、自殺や餓死、孤立死等の悲劇を招くおそれがある。これはわが国における生存権保障（憲法25条）を空文化させるものであって到底容認できない。

5 よって当会は、新改正案が衆議院で可決されることに強く反対し、同法案の廃案を改めて強く求めるものである。

2013年（平成25年）12月3日

宮崎県弁護士会

会長 西田 隆二